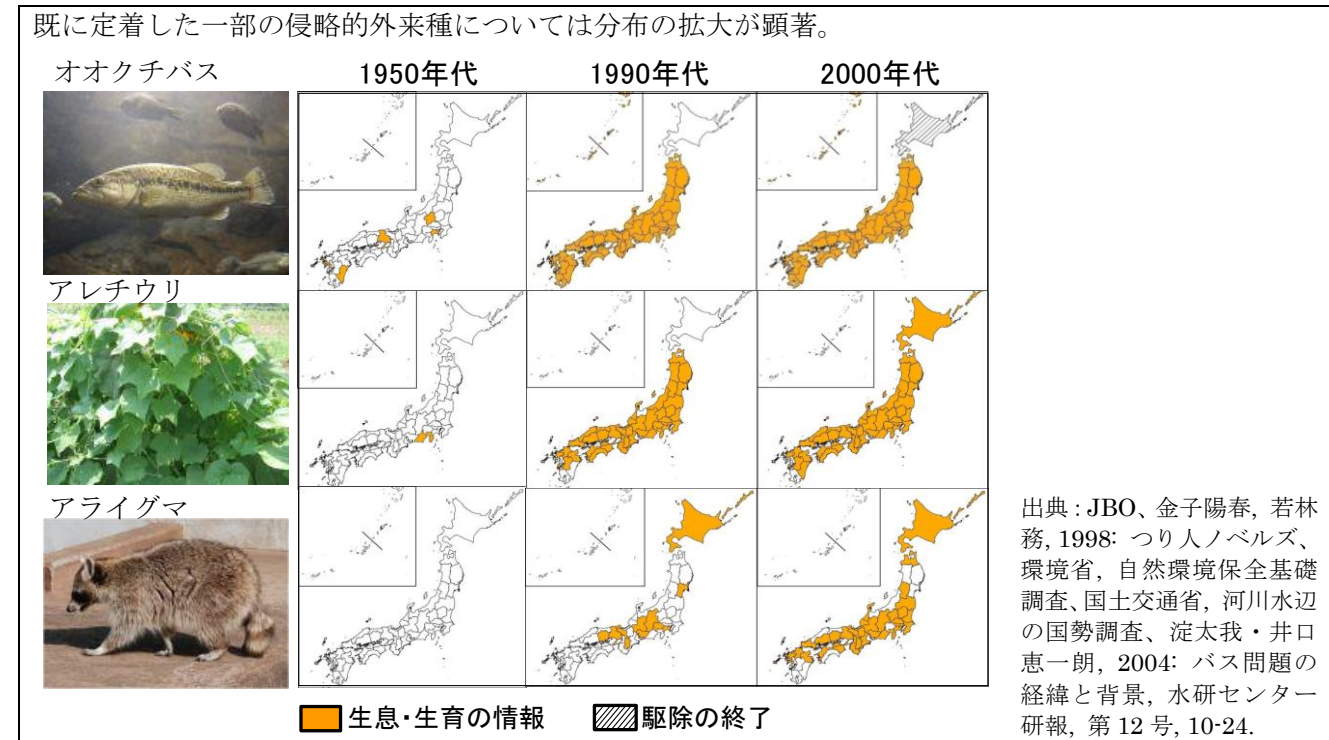


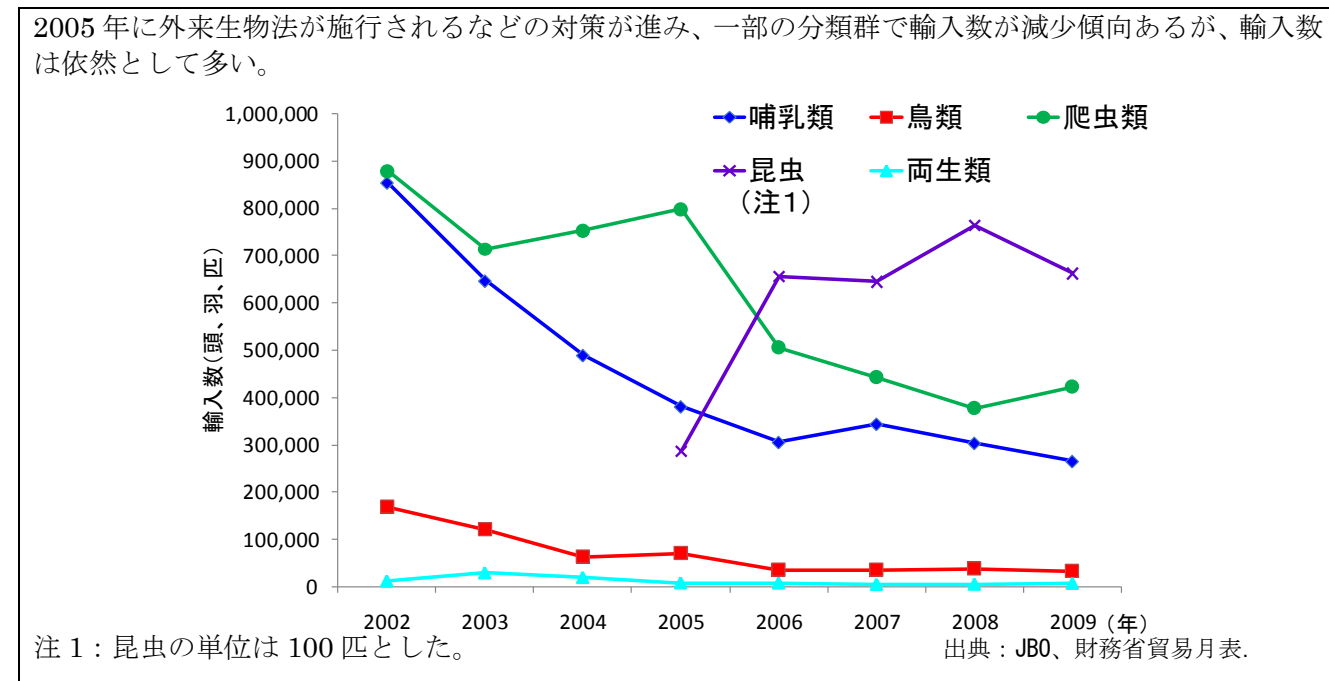
第3の危機：外来種、化学物質など人為的に持ち込まれたものによる生態系の攪乱

- 外来種の影響力は近年顕著に増加したとされているが、背景には、この50年間の国外との交流や貿易の飛躍的な増加がある。
- 意図的・非意図的に導入された外来種が侵入・定着し、一部の種は急速に分布拡大。
- 特に陸水生態系や島嶼生態系における影響が懸念される。

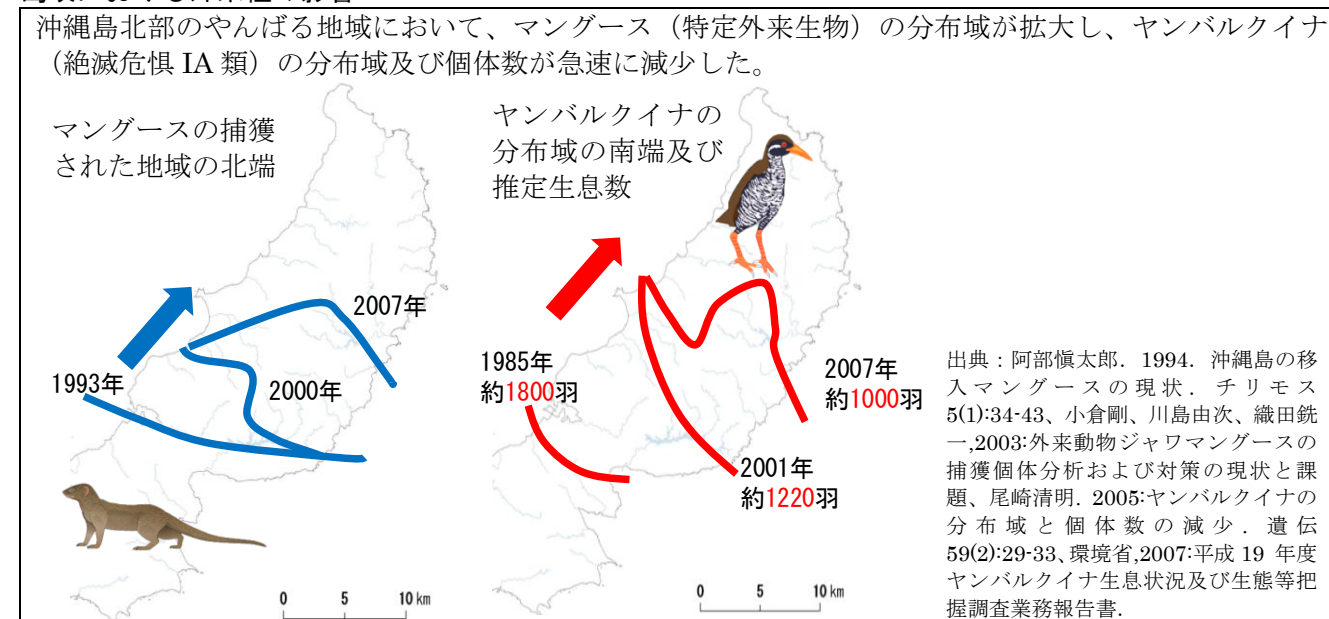
侵略的外来種の分布の拡大



海外から輸入される「生きている動物」の近年の輸入数



島嶼における外来種の影響



奄美大島では、防除事業に伴ってマングースの生息密度が極端に低下し、それに同調してケナガネズミ（絶滅危惧 IB 類）の個体数が増加しつつある。

